

# THS-2

## トークバックヘッドフォン シリーズ コメンタリーボックス

### 特徴：

- 個別のボリュームコントロールを備えた左右のバランスラインレベル入力
- モノラル Aux 入力は、左右のヘッドフォンに供給
- バランス XLR 入出力端子を装備
- 赤色のランプはマイクがオンになっていることを表示
- ミュート (COUGH) スイッチを押すと完全に無音に
- 1/4 インチ TRS または 3.5mm のヘッドフォン・ジャック
- 12 VAC 電源アダプタ付属



Whirlwind THS シリーズは、高品質のヘッドフォンアンプと様々なマイクコントロールのオプションを、卓上型の頑丈な筐体に搭載したスポーツアナウンサー向けコメンタリーボックスです。アナウンサーが資料などをめくっている最中でも簡単にコントロールボタンにアクセスできるよう使いやすく設計されています。

THS-2 は、1 つのマイク出力、ラッチ式のマイクオン/オフスイッチ、モーメンタリ式のカフスイッチで構成されています。トークバック出力はありません。ヘッドフォンへの入力は、バランスの取れたメス型 XLR コネクターを左右それぞれに装備しています。フロントパネルのボリュームコントロールで左右のヘッドフォンのレベルを調整します。また、ヘッドフォンの左右に均等に信号を送る、バランスのモノラル Aux 入力も備えています。Aux 入力には別にボリュームコントロールを装備しています。

THS-2 ボックスのマイク出力は、マイク入力からのパッシブのストレートスルー接続です。この構成により、THS-2 ボックスの電源が失われても、マイクはオンエアされることとなります。ファンタム電源は、放送用オーディオミキサーからマイク出力を介して、コンデンサーマイクに供給することもできます。

ヘッドフォンのアンプは、競技場の観客の大きな歓声の中でも聞こえるパワフルな歪みのない音声を提供するように設計されています。インピーダンスが 30~600Ω のヘッドフォンであれば最大音量でドライブできます。ほとんどのアナウンサー用のヘッドセットは 100~600Ω がほとんどです。ヘッドセットの接続は、マイクのために 3 ピンメス XLR と、ヘッドフォンのために 1/4 インチと 3.5mm の TRS ジャックが装備されています。

電源は、付属の 12VAC アダプタでユニットへ供給されます。フロントパネルの緑の LED は、電源が入っていることを示します。

**コントロールとコネクター：**

- ① MIC ON スイッチは、押し込むとマイクが ON になるラッチ式です。赤色のランプはマイクが生きていることを示します。
- ② LEFT ボリュームコントロールは、イヤフォンの左への入力の音量を調整します。
- ③ RIGHT ボリュームコントロールは、イヤフォンの右への入力の音量を調整します。
- ④ MONO ボリュームコントロールは、モノラル入力の音量をヘッドフォンの左右両方で調整します。
- ⑤ COUGH スイッチはモーメンタリ式で、押されている間は、マイクとトークバックの両出力がミュートされます。
- ⑥ 電源 LED は、本機に電源（12VAC、600mA）が供給されているときに点灯します。
- ⑦ MIC OUT コネクターはマイクから直接接続されています。コンデンサーマイクを使用する場合は、ミキサーからファンタム電源を供給する必要があります。
- ⑧ MIC IN コネクターは、ヘッドセットのマイクをミュート回路と MIC OUT コネクターに接続されます。
- ⑨ PHONES ジャックはヘッドセットのイヤフォンに接続されます。1/4 インチと 3.5mm の TRS ジャックを装備しています。チップが左、リングが右となります。
- ⑩ L、R の STEREO IN はバランスラインレベル入力です。Left は左のイヤフォンのみに、Right は右のイヤフォンのみに信号を送ります。
- ⑪ MONO IN はバランスラインレベルで、両方のイヤフォンに均等に信号を送ります。
- ⑫ 電源ジャック

\* 外観仕様に関して予告なく変更することがあります。